

## 公開講座

# 木製ロボットとプログラミングで遊ぼう！

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 教授 田中 洋一

生活科学学科生活情報デザイン専攻の田中洋一です。7月30日(土) 14～15時、木のおもちゃキュベットと一緒に遊びながらプログラミングの基礎を身につける公開講座を開催しました。本ワークショップは、2020年度にエンゼルランドふくいイベント、2021年度に本学公開講座にて企画しましたが、どちらも新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。今回は、4歳から9歳までの6組21名の親子に参加していただきました。



木製ロボットプログラミング教材キュベット（プリモトイズ社）は、「直進」「左回転」等の動作を表すブロックをボードにはめ、スイッチを押すと、木製のロボットが指示通りに動き出すおもちゃであり、グッド・トイ2018にも選ばれています。キュベットが開発されたイギリスでは、5歳児からのプライマリースクール（初等教育）において、プログラミング教育を含む「Computing」が2014年に必修となっています。また、イギリスでは2012年に就学前ナショナル・カリキュラム（EYFS2012）が策定され、2018年には日本でもキュベット用EYFS準拠の指導案（イギリス）を用いた試行が始まっています。

本ワークショップは、幼児教育学科2年の近藤さんと田中さんにも手伝ってもらい、次のような流れで実施しました。

- ①あいさつ、今日の約束
- ②手遊び「アブラハムの子」
- ③キュベットと仲良くなろう！※仕組みを確認する。
- ④キュベットのお話を作ろう！

- ⑤キュベットとクイズをしよう！「キュベットは、どこへ行く？」
- ⑥青ブロック（サブルーチン）を使ってみよう！
- ⑦振り返り

本ワークショップ終了後のアンケート（家族ごと）によると、とても満足5件、満足1件であり、自由記述からも全家族が楽しめたようです。他には、「子どもが楽しく興味を持つように工夫された講座だと感じまし



た」「4歳でもわかるように易しく説明・体験させていただいた」「話を自分で作り、どうしたらそうできるか、という考えを自宅でもやってみたいと思います」という意見がありました。

学生スタッフの感想は下記のとおりです。

講座前に「だるまさんがころんだ」等の遊びをしたことで、子どもたちと打ち解け、手遊びも楽しんで行えました。大人も子どもも楽しめる講座でオススメです。家族によって、子どもへの伝え方が違うことを観察できました。また、子ども一人ひとりによって、違った楽しみ方があることに気づきました。4歳児へ遊び方を伝えることは少し難しかったです。（近藤）

親子で楽しんでもらえて良かったです。親や子どもから「どうすれば良いのか？」と聞かれた際、もっと分かりやすく伝えたり声かけしたりすべきでした。（田中）

小学校からプログラミング授業が実施される現在、幼児向けのプログラミング遊びは重要だと思うので、2023年度以降も継続的に本ワークショップを実施していきたいと考えています。